

中小企業向け融資
—2兆3000億円

これでいいのか みずほ銀行の社会的責任



どこへ行った
多額の公的資金

バブル経済を投資であり、バブルがはじけると今度は、莫大な損失を国民の税金である公的資金によって救済された大銀行。その後、厚い国の保護のもと、投入資金の枠はさらに拡大されています。その一方でみずほ銀行などメガバンクはこの十年間、一銭の税金も納めていません。
 公的資金投入の口実は「貸ししぶり」の解消でしたが、そんなことはおかないしに外国の金融機関に大判振る舞い。こんなことが許されているのでしょうか。

**みずほなど大銀行は
 貸ししぶりをやめなさい
 貸しはがしをやめなさい**

景気悪化が深刻さをまし、資金繰り困難による中小企業の倒産が相次いでいます。大きな原因は、金融機関、特に大銀行の「貸し渋り、貸し剥がし」にあります。

みずほFGは昨年九月份、前年比で二兆三千億円も中小企業への融資が減少。業者泣かせの先頭にたっています。

みずほ銀行など大銀行は、「貸し渋り、貸し剥がし」をやめ、日本経済の再建のため、社会的責任を果たすべきです。

明治乳業争議解決へ

今求められる

みずほ銀行の決断

経営統合した明治乳業と明治製菓両社の筆頭株主はみずほ銀行です。
 明治乳業で四半世紀にわたって続いている差別撤廃争議の解決に、今みずほ銀行の決断が求められています。
 新会社が「世界への飛躍」を目指すためにも、経営統合という大きな節目に正常な企業活動を求めるため、みずほ銀行は筆頭株主としての責任を果たすべきです。

みずほ銀行は
 筆頭株主の責任として
 明治乳業の差別争議を
 解決させなさい！

明治乳業争議支援共闘会議

連絡先: 江東区労連 03-5606-5285 ホームページ
 明治乳業争議団 047-332-5698 明治乳業争議団



